

サハリン残留の邦人 ソ連が帰還手続き?

【新華社東京二十三日電】朝鮮赤十字会中央委員会は二十一日、第二次大戦中に日本軍人、軍属として死亡した韓国出身者の遺骨二千八百一十一柱を、日本政府が近く韓国側に送還させようとしている計画に抗議する声明を発表し、次のように述べた。

「日本政府が南側に送還しようとする二千八百一十一柱の遺骨の中には、北朝鮮に故郷を持った遺骨が数百柱も含まれている。これは日本政府が一方的に南朝鮮側と処理しようとするものであり、これは北朝鮮に対する新たな敵対政策であり、われわれはこれを拒絶し、送還計画の中止を要求する。」

韓国入遺骨送還で日本非難 北朝鮮赤十字会

【新華社東京二十三日電】朝鮮赤十字会中央委員会は二十一日、第二次大戦中に日本軍人、軍属として死亡した韓国出身者の遺骨二千八百一十一柱を、日本政府が近く韓国側に送還させようとしている計画に抗議する声明を発表し、次のように述べた。

「日本政府が南側に送還しようとする二千八百一十一柱の遺骨の中には、北朝鮮に故郷を持った遺骨が数百柱も含まれている。これは日本政府が一方的に南朝鮮側と処理しようとするものであり、これは北朝鮮に対する新たな敵対政策であり、われわれはこれを拒絶し、送還計画の中止を要求する。」

あつた

女性が名簿に記載された一人であることから若狭所長は「日本女性と結婚している夫(韓国出身者)およびその家族がかなり広範に帰還を希望するが、これを認めて手続がとられている」と述べた。

政府は昨年、田中首相が訪した際、帰還希望者百余人の名簿をプレスノブ書記長に手渡し、その後ソ連大使館を通じて追加名簿も提出している。手紙を寄せた日本

女性の名簿に記載された一人であることから若狭所長は「日本女性と結婚している夫(韓国出身者)およびその家族がかなり広範に帰還を希望するが、これを認めて手続がとられている」と述べた。

政府は昨年、田中首相が訪した際、帰還希望者百余人の名簿をプレスノブ書記長に手渡し、その後ソ連大使館を通じて追加名簿も提出している。手紙を寄せた日本

政府は昨年十月の田中首相訪ソの際、サハリン(樺太)に残留している邦人および韓国入りの引き寄せをソ連政府に要望した。しかし、外務省ではソ連政府から邦人などの引き寄せに際して、最近、何ら通達を受けておらず、事態は格別の進展はないとして、終戦以来、政府は韓国入と結婚した日本婦人の家族も「邦人引き寄せ」として取り扱ってきた。

ほが、邦人と直接接せざる關係のない韓国入についても、韓国がソ連と国交がないため、日本政府が代わってソ連側に帰還方を申し入れられている。昨秋の田中首相の要望もその線に沿ったものである。

しかし、四十年の日韓正常化以来、韓国入でサハリンから韓国へ帰還したのは、四十六年に帰郷一人がいるだけ。二人の人の場合も、妻子が日本婦人と結婚、その妻子夫婦が「邦人引き寄せ」で帰還してしまひ取り残されたため、特別扱いとして処理されている。

従って、韓国入の帰還が実現するとなれば大きな進展であり、懸念を抱くところも大きい。

北朝鮮赤十字会が抗議を表明

【新華社東京二十三日電】朝鮮赤十字会中央委員会は二十一日、第二次大戦中に日本軍人、軍属として死亡した韓国出身者の遺骨二千八百一十一柱を、日本政府が近く韓国側に送還させようとしている計画に抗議する声明を発表し、次のように述べた。

「日本政府が南側に送還しようとする二千八百一十一柱の遺骨の中には、北朝鮮に故郷を持った遺骨が数百柱も含まれている。これは日本政府が一方的に南朝鮮側と処理しようとするものであり、これは北朝鮮に対する新たな敵対政策であり、われわれはこれを拒絶し、送還計画の中止を要求する。」

同日

在韓米軍は三万八千人、米ソウル二十一日時事「韓国の合同通信が二十一日、ワシントン発で報じたところによれば、米国防総省は二十一日の下院軍事委員会で駐韓米軍の兵力数は現在三万八千人であることを公式に明らかにした。

【新華社東京二十三日電】朝鮮赤十字会中央委員会は二十一日、第二次大戦中に日本軍人、軍属として死亡した韓国出身者の遺骨二千八百一十一柱を、日本政府が近く韓国側に送還させようとしている計画に抗議する声明を発表し、次のように述べた。

「日本政府が南側に送還しようとする二千八百一十一柱の遺骨の中には、北朝鮮に故郷を持った遺骨が数百柱も含まれている。これは日本政府が一方的に南朝鮮側と処理しようとするものであり、これは北朝鮮に対する新たな敵対政策であり、われわれはこれを拒絶し、送還計画の中止を要求する。」

200